

やまだの保育

2011 年 保育士試験（筆記試験） 問題・正答・「やまだの保育」の解説
＝ (8) 保育実習理論 編 ＝

掲載日：2011年10月1日

- ★ 問題文は、「やまだの保育」による複製であり、番号や数値等の表記を一部加工しています。
- ★ 筆記試験の問題・正答・解説の構成は、以下の通りです。
 - (1) 社会福祉編, (2) 児童福祉編, (3) 発達心理学・精神保健編, (4) 小児保健編,
 - (5) 小児栄養編, (6) 保育原理編, (7) 教育原理・養護原理編, (8) 保育実習理論編
- ★ 全国保育士養成協議会は、以下を「不適切問題」として発表しました。(2011年9月20日現在)
 - ① 小児保健: 問 7
(理由)「選択肢④が曖昧な表現であることから、受験者全員を正解とします。」
 - ② 小児保健: 問 14
(理由)「選択肢③が曖昧な表現であることから、受験者全員を正解とします。」

(8) 保育実習理論 編 (20 問)

問 1

次の歌いはじめの部分 A～D にあてはまるものとして、ア～オを順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

「おかあさん」 作詞 田中ナナ 作曲 中田喜直

The image shows a musical score for the song 'Okkaa-san'. The score is in treble clef, one sharp (F#), and 4/4 time. The melody is divided into four segments labeled A, B, C, and D. Below these segments are five musical phrases labeled ア (A), イ (I), ウ (U), エ (E), and オ (O) for matching.

(組み合わせ)

ABCD

- ① アウオイ
- ② イアオエ
- ③ ウエイオ

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

④エウアイ

⑤エオアウ

【正答】

④: × × × ○ ×

【「やまだの保育」の解説】

◎「おかあさん」(作詞:田中ナナ, 作曲:中田喜直)は, 2006 年に文化庁・(社)日本 PTA 全国協議会主催で実施された「～親から子, 子から孫へ～親子で歌いつごう 日本の歌百選」に選ばれています。

④: ○ (A=エ, B=ウ, C=ア, D=イ)

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 2

次のA～Dを意味する音楽用語をア～ウの中から選んだ場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A. glissando

ア. 二音間を滑るように イ. 激昂して ウ. 軽やかに

B. staccato

ア. ゆったりしたテンポで イ. 音を短く切って ウ. 始めに戻る

C. accelerando

ア. 自由に イ. 歌うように ウ. 次第に速く

D. tenuto

ア. 男声の高音 イ. 音の長さを保って ウ. 荘重に

(組み合わせ)

ABCD

①アイウイ

②アウイア

③イイアウ

④イウイア

⑤ウアウイ

【正答】

①: ○ × × × ×

【「やまだの保育」の解説】

A: glissando

-「ア. 二音間を滑るように」急速に音階を演奏することです。

B: staccato

「イ. 音と音との間を短く切って」、歯切れよく演奏することです。

C: accelerando

「ウ. 次第に速く」演奏することです。

D: tenuto

「イ. 音の長さを保って」演奏することです。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 3

次のコードネームにあてはまる鍵盤の位置として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ア…イ…ウ

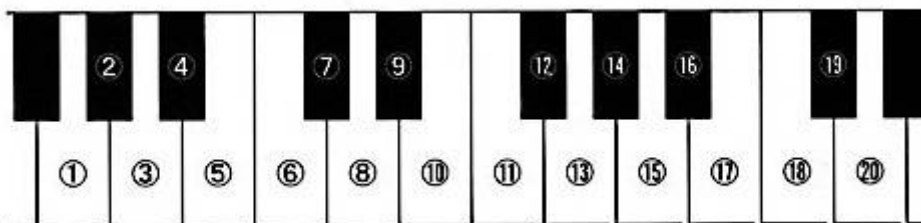
F: ⑥⑪⑭…③⑥⑪…⑪⑭⑱

Am: ③⑥⑩…⑥⑨⑮…⑦⑩⑮

Dm7: ⑥⑧⑫…⑥⑧⑪…⑫⑮⑱

G7: ⑪⑬⑯…①⑤⑨…①⑤⑪

	ア	イ	ウ
F	: ⑥⑪⑭	③⑥⑪	⑪⑭⑱
Am	: ③⑥⑩	⑥⑨⑮	⑦⑩⑮
Dm7	: ⑥⑧⑫	⑥⑧⑪	⑫⑮⑱
G7	: ⑪⑬⑯	①⑤⑨	①⑤⑪



(組み合わせ)

F…Am…Dm7… G7

①ア…イ…ウ… ア

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

- ②イ…ア…ア… ア
 ③イ…ア…イ… ウ
 ④ウ…ウ…ア… ウ
 ⑤ウ…ウ…イ… イ

【正答】

③: × × ○ × ×

【「やまだの保育」の解説】

◎基本的なコードは、「丸暗記」することを勧めます。

◎和音に関しては、以下の通りです。

・3和音は、基本的に3度はなれた第3音、5度はなれた第5音で構成されています。4和音は、3和音に、7度はなれた第7音を足したものです。ルート音がコードネームのベースになります。

・長三和音(メジャーコード)はルート音から長3度(=全音2つ)と完全5度(=全音3つ+半音1つ)からなる和音です

・短三和音(マイナーコード)はルートから短3度(=全音1つ+半音1つ)と完全5度(=全音3つ+半音1つ)からなる和音です。

③: (F=イ, Am=ア, Dm7=イ, G7=ウ)

F:イ

・F:ラドファ

ルート音は、コードネームから、F=ファ。マイナー表記のない長三和音なので、ファから長3度で、ラ。完全5度でド。

Am:ア

・Am:ラドミ

ルート音は、コードネームから、A=ラ。マイナー表記があるため短三和音なので、ラから短3度で、ド。完全5度でミ。

Dm7:イ

・Dm7:ドレファ

ルート音は、コードネームから、D=レ。マイナー表記があるため短三和音なので、レから短3度で、ファ。完全5度でラ。それに、7と表記があるが、M(メジャー)の表記がないため、短7度(=全音4つ+半音2つ)を加えて、ド。

G7:イ

・G7:ソシファ

ルート音は、コードネームから、G=ソ。マイナー表記のない長三和音なので、ソから長3度で、シ。完全5度でレ。それに、7と表記があるが、M(メジャー)の表記がないため、短7度(=全音4つ+半音

2つ)を加えて、ファ。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 4

次の曲を4歳児クラスで歌ってみたところ、一番高い音が不安定で歌いにくそうであった。そこで、長2度下の調に移調することにした。その場合A, B, Cの音は、鍵盤の1から20のどこを弾くか、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

(組み合わせ)

ABC

- ① 鍵盤番号 ⑤ ⑭ ⑩
- ② 鍵盤番号 ⑥ ⑱ ⑩
- ③ 鍵盤番号 ⑥ ⑱ ⑪
- ④ 鍵盤番号 ⑦ ⑰ ⑨
- ⑤ 鍵盤番号 ⑦ ⑲ ⑨

【正答】

②: × ○ × × ×

【「やまだの保育」の解説】

◎移調問題の解き方を、ご説明します。

(1) # (♭) の数が、いくつかで、調を特定する。

「・#長調: トニイホロヘハ、短調: ホロヘハトニイ。#は、ファドソレラミシの順番でつけられる。

・♭長調: ヘロホイニトハ、短調: ニトハヘロホイ。♭は、シミラレソドファの順番でつけられる。

・ハ長調、イ短調は、#や♭が付かない。

・長調の音階は、全全半全全全半。短調の音階は、全半全全半全全。」を覚える。

この楽譜の場合、明るい曲調から長調と判断。#1つはト長調。

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

(2)キーをさげた(あげた)主音は何かを探り、移調先の調を特定する。

設問より長2度(=全音1つ)さげるので、ト長調の主音は、ト=ソ。ここから、長2度(=全音1つ)下がった、音はファ。主音は、ファとなり、ヘ長調となる。

(3)それぞれの音階を探る。

ト長調の場合、#1つ、主音はト=ソ。まず、ソ、ラ、シ、ド、レ、ミ、ファ、ソと書く。そこに、#を書き込んでいく。#は、ファドソレラミシの順番でつけられるので、ファのみが、#。よって、ト長調の音階は、ソ、ラ、シ、ド、レ、ミ、ファの#、ソとなる。

一方、ヘ長調は、bが1つ。主音は、ヘ=ファ。先ほど同様、まず、bなしの音階を書く。ファソラシドレミファ。そこに、bを書き込んでいく。bは、シミラレソドファの順番でつけられるので、ヘ長調の音階は、ファ、ソ、ラ、シのb、ド、レ、ミ、ファ。

(4)これを並べて、設問の答え(鍵盤番号)を導き出す。

・ト長調 ソ、ラ、シ、ド、レ、ミ、ファの#、ソ

・ヘ長調 ファ、ソ、ラ、シのb、ド、レ、ミ、ファ

(5)この場合、④から、設問の楽譜のAは、ト長調のレ。ヘ長調で同じ場所の音は、ドとなり、鍵盤番号⑥が答えと、導き出される。Bは、1オクターブ高いレ。Aと同様、ドとなるので鍵盤番号⑩。Cは、ト長調のファの#、ヘ長調で同じ場所の音は、ミとなり、鍵盤番号⑩が答えとなる。

②: ◎ (A=鍵盤番号⑥, B=⑩, C=⑩)

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 5

問 4 の楽譜を長 2 度下に移調したものは、何調になるか。正しいものを一つ選びなさい。

- ①変ホ長調
- ②ヘ長調
- ③イ長調
- ④ト長調
- ⑤変ロ長調

【正答】

②: × ○ × × ×

【「やまだの保育」の解説】

②: ○ (ヘ長調)

・問 4 の解説を参照してください。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 6

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 團伊玖磨作曲，まど・みちお作詞の「ぞうさん」は，3拍子の曲である。
- B. すべてのわらべうたは，イ短調で作曲されている。
- C. 「赤い鳥小鳥」は，明治時代に発表された唱歌である。
- D. 二長調の調号は，シャープが二つである。

(組み合わせ)

ABCD

- ① ○○××
- ② ○××○
- ③ ○×××
- ④ ×○○×
- ⑤ ××○○

【正答】

②: ×○×××

【「やまだの保育」の解説】

A: ○

・「ぞうさん」の旋律は，ヘ長調 4 分の 3 拍子，8 小節の一部形式です。童謡には 3 拍子のものが少ないが，3 拍子のリズムを使った曲です。

B: ×

・わらべうたは，Aマイナーが多いですが，DマイナーやEマイナーなどの調もあります。したがって，設問の「すべて」は誤りです。

C: ×

・「赤い鳥小鳥」とは，北原白秋作詞，成田為三作曲の童謡です。1918(大正 7)年に，鈴木重吉，北原白秋らにより創刊された「赤い鳥」(こども向け雑誌)に発表された詩に曲をつけたものです。したがって，設問の「明治時代，唱歌」は「大正時代，童謡」が正しい。なお，1919(大正 8)年には，「こども雑誌」，11 月には「金の船」，1920(大正 9)年 6 月に「童話」など，創作童謡を掲載する雑誌が創刊されました。童謡が普及する契機となりました。

D: ○

♯♭の個数問題は，以下，を覚えておくと容易に解けます，

「♯長調: トニイホロヘハ，短調: ホロヘハトニイ。♯は，ファドソレラミシの順番でつけられる。

・♭長調: ヘロホイニトハ，短調: ニトハヘロホイ。♭は，シミラレゾドファの順番でつけられる。

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

- ・ハ長調, イ短調は, #や♭が付かない。
- ・長調の音階は, 全全半全全全半。短調の音階は, 全半全全半全全。」を覚える。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 7

次の文のうち, 「保育所保育指針」第 3 章「保育の内容」のオ「表現」における(ア)「ねらい」の記述として正しいものを○, 誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 明るく伸び伸びと表現し, 充実感を味わう。
- B. 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
- C. いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。
- D. 身近な自然と触れ合う中で, 様々な表現に対する幅広い感性を持つ。
- E. 生活の中でイメージを豊かにし, 様々な表現を楽しむ。

(組み合わせ)

ABCDE

- ①○○×○×
- ②○○××○
- ③○×○×○
- ④×○○○×
- ⑤×○○×○

【正答】

⑤: ××××○

【「やまだの保育」の解説】

◎「保育所保育指針解説書」-「第 3 章 保育の内容」-「1. 保育のねらい及び内容」-「(2)教育に関わるねらい及び内容」において, 以下の通り定められている。(p89)

オ 表現

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して, 豊かな感性や表現する力を養い, 創造性を豊かにする。

(ア)ねらい

- ① いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。
- ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
- ③ 生活の中でイメージを豊かにし, 様々な表現を楽しむ。

A: ×

・設問の内容は、「才 表現」には定められていません。

・なお、「保育所保育指針解説書」-「第3章 保育の内容」-「1. 保育のねらい及び内容」-「(2) 教育に関わるねらい及び内容」-「ア 健康」-「(ア)ねらい」において、「①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。」と定められています。

B:○

上記原文②に対応しています。

C:○

上記原文①に対応しています。

D:×

・設問の内容は、「才 表現」には定められていません。

・なお、「保育所保育指針解説書」-「第3章 保育の内容」-「1. 保育のねらい及び内容」-「(2) 教育に関わるねらい及び内容」-「ウ 環境」-「(ア)ねらい」において、「①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。」と定められています。

E:○

上記原文③に対応しています。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 8

次の語句は、描画表現に関するものである。A～Dの語句を一般的に出現するのが早い順に並べた場合の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 頭足人
- B. 基底線
- C. スクリブル
- D. 写実的表現

(組み合わせ)

- ①A→B→C→D
- ②A→C→D→B
- ③C→B→A→D
- ④C→A→B→D
- ⑤D→A→C→B

【正答】

④: × × × ○ ×

【「やまだの保育」の解説】

◎【幼児期描画活動の発達】

- (1) <1-2 歳半> なぐりがき期(錯画期・乱画期): スクリブル
- (2) <2 歳半-3 歳> 象徴期(命名期, 意味づけ期): 描いた形に名前をつける
- (3) <3-5 歳半> 前図式期(カタログ期): 自分の知ってるものを描く。頭足人やアミニズム表現など
- (4) <5-9 歳半> 図式期: 覚え書きのような図式で表現する。レントゲン表現や拡大表現, 展開表現など。基底線
- (5) <8 歳-18 歳ごろ> 写実的表現

④: O (C→A→B→D)

・出現するのが早い順は, 以下の通りである。

C: スクリブル<1-2 歳半頃>

・なぐりがき

A: 頭足人<3-5 歳半頃>

・万国共通で子供が描く, 前図式期初期にみられる人間の絵

B: 基底線<5-9 歳半頃>

・画面の中で, 位置関係を表す地面

D: 写実的表現(8 歳-18 歳頃)

・芽生え期, 写実期, 完成期に分けられることもあります。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

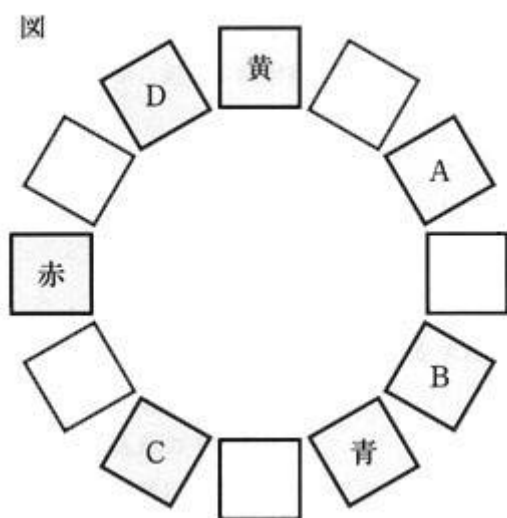
問 9

次の図は, 12 色相環を表している。A~Dにあてはまる色名として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.



(組み合わせ)

A・・・B・・・C・・・D

- ①黄緑・・・緑青・・・赤紫・・・赤橙
- ②緑青・・・青緑・・・青紫・・・黄橙
- ③緑・・・緑青・・・紫・・・黄橙
- ④緑・・・青緑・・・紫・・・赤橙
- ⑤黄緑・・・緑・・・青紫・・・黄橙

【正答】

③: × × ○ × ×

【「やまだの保育」の解説】

③: ○ (A: 緑, B: 緑青, C: 紫, D: 黄橙)

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 10

平面構成をする際の構成美の要素の一つである「グラデーション」について、適切な記述を一つ選びなさい。

- ①2つ以上の要素がつりあった状態
- ②比例, 比率, 割合
- ③上下, 左右, 放射などの対称
- ④同じもののくり返し

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

⑤段階的に変化すること

【正答】

⑤: × × × × ○

【「やまだの保育」の解説】

①: ×

・2つ以上の要素がつりあった状態＝「均衡(バランス)」

②: ×

・比例, 比率, 割合＝「プロポーション」

③: ×

・上下, 左右, 放射などの対称＝「シンメトリー」

④: ×

・同じもののくり返し＝「リズム」

⑤: ○

・段階的に変化すること＝「グラデーション」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 11

次の【事例】の(A)～(C)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【事例】

H保育園で廊下の壁に貼ってあるポスターを見ていたSちゃんが「私の絵みたい」と言いました。そのポスターに描かれている絵は、「ゲルニカ」で有名な(A)という画家の作品で、彼の(B)派といわれる頃の絵でした。それは子どもの絵の特徴の一つである(C)に類似しているものでした。

(組み合わせ)

A・・・B・・・C

①ピカソ・・・印象・・・展開表現

②ゴッホ・・・未来・・・積立表現

③ピカソ・・・立体・・・多視点表現

④ゴッホ・・・印象・・・レントゲン表現

⑤ゴッホ・・・立体・・・異時同存表現

【正答】

③: × × ○ × ×

【「やまだの保育」の解説】

◎ピカソとは、スペインの画家であり、立体派(キュビズム)創始者です。「ゲルニカ」は、子どもの絵の特徴の1つである多視点表現に類似しています。多視点表現とは、いくつかの視点(出来事・時間経過等)から見たものを1枚の絵に描き入れてしまうことです。

③:○(A:ピカソ, B:立体, C:多視点表現)

【事例】

H保育園で廊下の壁に貼ってあるポスターを見ていたSちゃんが「私の絵みたい」と言いました。そのポスターに描かれている絵は、「ゲルニカ」で有名な【A:ピカソ】という画家の作品で、彼の【B:立体】派といわれる頃の絵でした。それは子どもの絵の特徴の一つである【C:多視点表現】に類似しているものでした。」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 12

次の【事例】を読んで【設問】に答えなさい。

【事例】

M先生は、パネルシアターで使用する動物の絵人形をつくりました。材料、用具として、不織布、油性ペン、鉛筆、画用紙、ポスターカラー、はさみを使用しました。

【設問】

その時の過程をA～Eとした場合の手順として、最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 写し取った不織布に油性ペンで縁取りする。
- B. 縁取りをした不織布に彩色する。
- C. 画用紙に絵人形の下絵を描く。
- D. 縁取りの線の外に余白を少し残して切り取る。
- E. 下絵の上に不織布をのせて写し取る。

(組み合わせ)

- ①A→D→B→E→C
- ②B→C→A→E→D
- ③C→A→D→B→E
- ④C→D→B→E→A
- ⑤C→E→A→B→D

【正答】

⑤: × × × × ○

【「やまだの保育」の解説】

◎パネルシアターとは、毛羽立ちよい布地を貼った白いパネルに、ざらざらの不織布でつくった絵人形や背景を貼ったり、とったり、動かしたりして、物語や歌遊びなどを構成する表現方法です。

⑤: (C→E→A→B→D)

・パネルシアターの手順は、以下の通りとなります。

C:画用紙に絵人形の下絵を描く。

E:下絵の上に不織布をのせて写し取る。

A:写し取った不織布に油性ペンで縁取りする。

B:縁取りをした不織布に彩色する。

D:縁取りの線の外に余白を少し残して切り取る。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 13

次の文を「保育所保育指針」第 3 章「保育の内容」の記述として完成させる場合、(A)～(C)の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

「(A. 保育)」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助であり、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」及び「表現」の5領域から構成される。この5領域並びに「生命の保持」及び「(B. 精神)の安定」に関わる保育の内容は、子どもの生活や遊びを通して相互に関連を持ちながら、(C. 個別的)に展開されるものである。

(組み合わせ)

A BC

①○○○

②○○×

③○×○

④××○

⑤×××

【正答】

⑤: × × × × ○

【「やまだの保育」の解説】

◎「保育所保育指針解説書」-「第 3 章 保育の内容」において、以下の通り定められている(一部抜

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

粹)。(p49)

「ここにいう「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりである。また、「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助であり、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」及び「表現」の 5 領域から構成される。この 5 領域並びに「生命の保持」及び「情緒の安定」に関わる保育の内容は、子どもの生活や遊びを通して相互に関連を持ちながら、総合的に展開されるものである。」

⑤:○

A:×

・設問の「保育」は「教育」が正しい。

B:×

・設問の「精神」は「情緒」が正しい。

C:×

・設問の「個別的」は「総合的」が正しい。

「【A:「教育」】とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助であり、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」及び「表現」の 5 領域から構成される。この 5 領域並びに「生命の保持」及び【B:「情緒」の安定】に関わる保育の内容は、子どもの生活や遊びを通して相互に関連を持ちながら、【C:総合的】に展開されるものである。」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 14

次の文は、「保育所保育指針」第 2 章「子どもの発達」の 2「発達過程」の一部である。これにあてはまる発達過程の区分として正しいものを一つ選びなさい。

基本的な運動機能が伸び、それに伴い、食事、排泄、衣類の着脱などもほぼ自立できるようになる。話し言葉の基礎ができて、盛んに質問するなど知的興味や関心が高まる。

①おおむね 6 歳

②おおむね 5 歳

③おおむね 4 歳

④おおむね 3 歳

⑤おおむね 2 歳

【正答】

④:×××○×

【「やまだの保育」の解説】

④:○(おおむね3歳)

・「保育所保育指針解説書」-「第2章 子どもの発達」-「2 発達過程」-「(5)おおむね3歳」において、「基本的な運動機能が伸び、それに伴い、食事、排泄、衣類の着脱などもほぼ自立できるようになる。話し言葉の基礎ができて、盛んに質問するなど知的興味や関心が高まる。自我がよりはっきりしてくるとともに、友達との関わりが多くなるが、実際には、同じ遊びをそれぞれが楽しんでいる平行遊びであることが多い。大人の行動や日常生活において経験したことをごっこ遊びに取り入れたり、象徴機能や観察力を発揮して、遊びの内容に発展性が見られるようになる。予想や意図、期待を持って行動できるようになる。」と定められている。(p39)

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 15

次の文を「保育所保育指針」第3章「保育の内容」のエ「言葉」の記述として完成させる場合、(A)～(C)の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

経験したことや考えたことなどを(A. いろいろな)言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や(B. 知識)を育て、言葉に対する(C. 感情)や言葉で表現する力を養う。

(組み合わせ)

ABC

①○○×

②○×○

③○××

④×○×

⑤×××

【正答】

⑤:××××○

【「やまだの保育」の解説】

◎「保育所保育指針解説書」-「第3章 保育の内容」-「1. 保育のねらい及び内容」-「(2)教育に関わるねらい及び内容」-「エ言葉」において、以下の通り定められている。(p81)

「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。」

⑤:○

A:×

・設問の「いろいろな」は「自分なりの」が正しい。

B: ×

・設問の「知識」は「態度」が正しい。

C: ×

・設問の「感情」は「感覚」が正しい。

「経験したことや考えたことなどを【A:自分なりの】言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や【B:態度】を育て、言葉に対する【C:感覚】や言葉で表現する力を養う。」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 16

次の文は、「保育所保育指針」第 3 章「保育の内容」のイ「情緒の安定」の(イ)「内容」の一部である。
(A)～(E)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育士等との(A)を基盤に、一人一人の子どもが(B)に活動し、(C)や探索意欲などを高めるとともに、自分への(D)を持つことができるよう成長の(E)を見守り、適切に働きかける。

(組み合わせ)

A・・・B・・・C・・・D・・・E

- ①信頼関係・・・主体的・・・自発性・・・自信・・・進歩
- ②信頼関係・・・主体的・・・自発性・・・自信・・・過程
- ③信頼関係・・・積極的・・・自発性・・・責任・・・過程
- ④人間関係・・・主体的・・・継続性・・・責任・・・過程
- ⑤人間関係・・・積極的・・・継続性・・・責任・・・進歩

【正答】

②: × ○ × × ×

【「やまだの保育」の解説】

◎「保育所保育指針解説書」-「第 3 章 保育の内容」-「1. 保育のねらい及び内容」-「(1)養護に関わるねらい及び内容」-「イ 情緒の安定」において、以下の通り定められている。(p54)

(イ)内容

- 1) 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉がけを行う。
- 2) 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築いていく。
- 3) 保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

4)一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。

②:○(A:信頼関係, B:主体的, C:自発性, D:自信, E:過程)

・設問は、上記 3)に対応します。

「保育士等との【A:信頼関係】を基盤に、一人一人の子どもが【B:主体的に】活動し、【C:自発性】や探索意欲などを高めるとともに、自分への【D:自信】を持つことができるよう成長の【E:過程】を見守り、適切に働きかける。」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 17

次の文のうち、「保育所保育指針」第 3 章「保育の内容」のエ「言葉」の(イ)「内容」の記述として正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 生活の中で必要な言葉が分かり、話す。
- B. 親しみを持って日常のあいさつをする。
- C. 日常生活の中で、文字などで遊ぶ楽しさを味わう。

(組み合わせ)

ABC

- ①○○○
- ②○○×
- ③○××
- ④×○○
- ⑤×○×

【正答】

⑤: × × × × ○

【「やまだの保育」の解説】

◎「保育所保育指針解説書」-「第 3 章 保育の内容」-「1. 保育のねらい及び内容」-「(2)教育に関わるねらい及び内容」-「エ言葉」において、以下の通り定められている。(p82)

(イ)内容

- 1)保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。
- 2)保育士等と一緒にごっこ遊びなどをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。
- 3)保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり、話したりする。
- 4)したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと、考えたことを自分なりに言葉で表現する。

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

- 5)したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
 6)人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
 7)生活の中で必要な言葉が分かり、使う。
 8)親しみを持って日常のあいさつをする。
 9)生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。
 10)いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
 11)絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。
 12)日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。

⑤:○

A:×

・設問は、上記 7)に対応するものですが、「話す」は「使う」が正しい。

B:○

・設問は、上記 8)に対応します。

C:×

・設問は、上記 12)に対応するものですが、「遊ぶ」は「伝える」が正しい。

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 18

次の文は、「保育所保育指針」第 3 章「保育の内容」の(3)「3 歳未満児の保育に関わる配慮事項」の一部である。(A)～(C)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもの(A)の育ちを見守り、その気持ちを(B)とともに、保育士等が仲立ちとなって、(C)の気持ちや(C)との関わり方を丁寧に伝えていくこと。

(組み合わせ)

A・・・B・・・C

- ①心身・・・受け入れる・・・友達
 ②自我・・・受け入れる・・・友達
 ③自我・・・受け止める・・・友達
 ④心身・・・受け止める・・・子ども
 ⑤自我・・・受け止める・・・子ども

【正答】

③: × × ○ × ×

【「やまだの保育」の解説】

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

◎「保育所保育指針解説書」-「第3章 保育の内容」-「2. 保育の実施上の配慮事項」-「(3)3歳未満児の保育に関わる配慮事項」において、以下の通り定められている。(p107)

ア 特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲などの日常の状態の観察を十分に行うとともに、適切な判断に基づく保健的な対応を心がけること。

イ 食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなど、生活に必要な基本的な習慣については、一人一人の状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中で行うようにし、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重すること。

ウ 探索活動が十分できるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、全身を使う遊びなど様々な遊びを取り入れること。

エ 子どもの自我の育ちを見守り、その気持ちを受け止めるとともに、保育士等が仲立ちとなって、友達の気持ちや友達との関わり方を丁寧に伝えていくこと。

オ 情緒の安定を図りながら、子どもの自発的な活動を促していくこと。

カ 担当の保育士が替わる場合には、子どものそれまでの経験や発達過程に留意し、職員間で協力して対応すること。

③:○(A:自我, B:受け止める, C:友達)

・設問は、上記エに対応する設問です。

「子どもの【A:自我】の育ちを見守り、その気持ちを【B:受け止める】とともに、保育士等が仲立ちとなって、【C:友達】の気持ちや【C:友達】との関わり方を丁寧に伝えていくこと。」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 19

次の文は、「児童福祉最低基準」(平成23年4月1日現在)第7条の2の一部である。(A)～(C)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

児童福祉施設の職員は、法に定めるそれぞれの(A)を達成するために必要な知識及び(B)、維持及び(C)に努めなければならない

(組み合わせ)

A・・・B・・・C

- ①施設の目的・・・技能の修得・・・向上
- ②施設の目的・・・技術の修得・・・向上
- ③子どもの育ち・・・技能の修得・・・自己研鑽
- ④子どもの育ち・・・技術の修得・・・自己研鑽
- ⑤施設の目的・・・技能の修得・・・自己研鑽

【正答】

①: ○ × × × ×

【「やまだの保育」の解説】

◎児童福祉施設最低基準第 7 条の 2(児童福祉施設の職員の知識及び技能の向上等)の規定は、以下の通りです。

第 1 項 児童福祉施設の職員は、常に自己研鑽に励み、法に定めるそれぞれの施設の目的を達成するために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならない。

第 2 項 児童福祉施設は、職員に対し、その資質の向上のための研修の機会を確保しなければならない。

①: ○(A:施設の目的, B:技能の修得, C:向上)

・設問は、児童福祉施設最低基準第 7 条の 2 第 1 項に対応します。

「児童福祉施設の職員は、法に定めるそれぞれの【A:施設の目的】を達成するために必要な知識及び【B:技能の修得】、維持及び【C:向上】に努めなければならない。」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】

問 20

次の文を「児童福祉法」第 43 条の 3 の記述として完成させる場合、(A)～(C)の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

肢体不自由児施設は、肢体不自由のある児童を(A. 治療)するとともに(B. 自立)に必要な(C. 能力)を与えることを目的とする施設とする。

(組み合わせ)

A BC

①○○×

②○×○

③○××

④×○○

⑤××○

【正答】

③: × × ○ × ×

【「やまだの保育」の解説】

◎児童福祉法第 43 条の 3 において、「肢体不自由児施設は、肢体不自由のある児童を治療するとともに、独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする施設とする。」と定められています。

<http://www.yamada-no-hoiku.com>

やまだの保育

Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.

◎肢体不自由児施設は、児童福祉法上の「児童福祉施設」と医療法上の「病院」の 2 つの側面を持っています。対象年齢は、必要がある場合には満 20 才までとされています。

③: ○

A: ○

・設問の通りです。

B: ×

・設問の、「自立」は「独立自活」が正しい。

C: ×

・設問の、「能力」は「知識技能」が正しい。

「肢体不自由児施設は、肢体不自由のある児童を【A:治療】するとともに、【B:独立自活】に必要な【C:知識技能】を与えることを目的とする施設とする。」

【Copyright(C) 2011 Takako Yamada. All rights reserved.】